

提出された意見等の概要とこれに対する考え方

案 件 名 : 参画と協働の推進方策 (案)
 意見募集期間 : 令和3年1月20日～令和3年2月10日
 意見等の提出件数 : 6件 (3人)

No.	項目	意見等の概要	件数	県の考え方
1	基本的考え方	県政における課題が複雑化・多様化している今だからこそ、「参画と協働」が重要であり、そういった精神を持つ兵庫県を築いていただきたい。	1	【既に盛り込み済みです】 必要に応じて地域、団体、企業、大学等の多様な主体と連携し、課題解決に向け、取組を進めています。 引き続き、「参画と協働」を基本姿勢とし、県政を推進します。(4ページ)
2	地域づくり活動の支援の方向	より多くの県民に地域づくりに関する情報や県の施策を発信することが大切であり、そうした内容を記載すべきではないか。	1	【既に盛り込み済みです】 SNSなどのICTを活用し、双方向性のあるツールによる地域づくり活動に関する情報発信や、様々な媒体による県の支援施策の周知について盛り込んでいます。(6,7ページ)
3		地域活動を行う人材を確保するためには、活動に参加するきっかけが重要であることから、事業を実施する際、そうした観点を意識していただきたい。	1	【既に盛り込み済みです】 地域づくり活動に関する興味や関心を喚起するため、きっかけづくりの充実に関する記載を盛り込んでいます。(7ページ)
4		高齢者に特化した人材確保策について記載すべきではないか。	1	【既に盛り込み済みです】 高齢者のみならず多様な方々に地域活動等に参加していただきたいという考えのもと、活動事例の情報提供、講座の開催、異世代の交流機会の提供などについて盛り込んでいます。(10ページ)
5		コロナ禍において、従来の体制での地域づくり活動が厳しい状況なので、工夫を凝らして活動を行っている団体の取組に関する情報発信について記載すべきではないか。	1	【既に盛り込み済みです】 コロナ禍を契機に実施される創意工夫を凝らした地域活動への支援や、好事例の周知について盛り込んでいます。(13ページ)
6	資料(用語解説)	14ページの「ちょボラ」と「プロボノ」について、あまり聞き慣れない言葉であるので、用語解説に追加してはどうか。	1	【ご意見を反映しました】 ご意見のとおり、用語解説に「ちょボラ」と「プロボノ」の項目を追記しました。